



Jay Cunningham
Engine DJ
jcunningham@inmusicbrands.com

社外秘:情報解禁日 日本時間12月16日深夜0時

ENGINE DJよりENGINE DJ V2.1を発表 LC6000 PRIMEがPRIME 4に対応

今回のアップデートではLC6000 PRIMEとPRIME 4の連携を実現。

さらにPRIME 4のパフォーマンスビューに2つのモードを新たに追加し、macOS 12 MontereyとWindows 11 OSにも対応

アメリカ、フロリダ州フォートローダーデール(2021年12月16日) — クロスプラットフォームDJソフトウェアソリューション開発における大手デベロッパー「Engine DJ」よりEngine OS v2.1を発表します。

PRIME 4コントロール

今回のアップデートでは以前よりご要望の多かったDENON DJ LC6000 PRIME DJコントローラーとDENON DJ PRIME 4の連携を実現しました。DENON DJ LC6000 PRIME をDENON DJ PRIME4に接続すれば、DENON DJ LC6000 PRIMEのフルサイズプラッター、マルチファンクション・パフォーマンスパッド、ループコントロールなどを使ってDENON DJ PRIME4の3/4レイヤーをコントロールすることができます。

新たなパフォーマンスビューを追加

DENON DJ PRIME 4は再生中のトラックを直感的に確認できる2/4デッキの縦型ビューを採用し、その後のアップデートでパフォーマンスビューの縦方向/横方向の表示切替が可能となりました。今回のアップデートではパフォーマンスビューに2つのモードが新たに追加され、ミックスのモニタリングがさらに円滑に行えるようになります。

最新のOSに対応

デスクトップ用のアプリケーションEngine DJ v2.1がmacOS 12 MontereyとWindows 11 OSに対応しました。

Engine DJ v2.1の主な特徴

- DENON DJ LC6000 PRIMEとDENON DJ PRIME 4が連携可能に
- DENON DJ PRIME 4のパフォーマンスビューに2つのモードを新たに追加
- macOS 12 MontereyとWindows 11 OSに対応
- その他、安定性とパフォーマンスを向上させるための改善を多数実施

Engine DJ v2.1はこちらから無償でダウンロードできます。Enginedj.com

#

ENGINE DJについて

Engine DJはデスクトップ・アプリケーションとハードウェアに搭載されたOSとの2つのプラットフォームで構成されています。ハードウェアに搭載されたEngine OSプラットフォームには、クリエイティブで革新的な独自のツールが備わっています。デスクトップ・アプリケーションは楽曲データコレクションをより簡単に管理/操作することができるコンピュータベースのソフトウェアです。

Engine DJはDJの創造性とDJパフォーマンスをさらに向上させる世界初かつ最先端のDJ専用クリエイティブ・プラットフォームです。